

西川 コミュニティだより

第48号

■発行／西川地域コミュニティ協議会

電話 0256-88-5900

■発行日／令和3年12月25日

FAX 0256-78-7544

■〒959-0423

■ホームページ／<http://kasaboko.jp>

■住所／西蒲区旗屋701-2

十五歳の少女が起こした竜巻

西川商工会 会長 八百板 勲



「ブラジルの一匹の蝶が羽ばたけば、テキサスで竜巻を引き起こす」

これは、「バタフライ効果」と呼ばれ、カオス理論の本質を言い表している言葉です。簡単に説明すると、計測できないほど小さな初期条件の違いによって、結果が全く異なってしまう。つまり、未来は原則的に予測不可能であることが数学的に

証明されました。

未来を予測することは出来ない、と聞くと悲観的にもなりますが、逆に次のように考えたらどうでしょうか。

「とるに足らない一匹の蝶でも、羽ばたけば、世界の気象に影響を与えることができる」

私たちの暮らす社会は広くて複雑なので、人はしばしば無力感を抱きます。様々な問題を解決したいけれども、「自分ひとりが頑張っても社会を変えることなど出来っこない」そう思って、問題を考えること自体を諦めてしまいがちです。

しかし、現実とは違います。自分の半径一メートル程度の行動でも、ブラジルで羽ばたく蝶のように、社会を変えてしまう可能性は十分にあります。それを体現した一人が、スウェーデンの環境活動家グレタ・トゥーンベリさんです。彼女は十五歳の時に、「気候のための学校ストライキ」をたった一人で始めました。その運動の輪がどんどんと広がり、結果的に世界中の若者の多くを動かしました。

「自分一人だけの小さな行動」は、決して無力ではなく、いつか社会を変える力を秘めています。西川においても、人口減少、地域活性化や伝統文化の承継といった諸問題が山積しています。ほかの誰かに頼るばかりではなく、自らが羽ばたいて下さい。西川商工会は全力を挙げて支援いたします。自分のために、家族のために、地域のために、羽ばたかなければ、永遠に竜巻は起こりません。



ほし大根作り(九番町)



新川からの雪景色(2021.1.26)

■西川地域の総人口:10,694名(+10名) ■男:5,170名(-2名) ■女:5,524名(+12名) ■世帯数:4,038戸(+15戸)

()は、前号との比較 (令和3年11月末日現在)

【火災予防】

暖房器具火災に注意！

西蒲消防署西川出張所長 渡邊 透

年の瀬を迎え、寒さも一段と厳しくなりま
した。

西蒲消防署西川出張所から、暖房器具火災
についてのお知らせです。

冬は、暖房器具による火災が多く、ストー
ブの取扱い不注意が原因の多くを占めていま
す。

ストーブ使用時の注意点は、

- 一、周囲に燃えやすい物を置かない
- 二、ストーブの上に洗濯物を干さない
- 三、給油は、必ず消火してから行う
- 四、異常燃焼の原因となるため、間違つてガ
ソリン等を給油しない
- 五、給油後の蓋は確実に締める

以上五点に注

意した取扱いで
ストーブ火災を
予防しましよ
う。

また、火事と
救急は、119
番通報をお願い
します。



【子供創作活動】

手品とクリスマスリースづくり

事務局長 七宮 晃

「わあ、すごい。
どうして？」

子どもたちの声があ
ちこちで聞こえてき
ました。今年、リ
ースづくりの前に当
館を利用して

「手品クラブ」8名
の方々による手品シ
ョーをしていただきま
した。その後、クリ
スマリースづくり



に挑戦しました。

子供30名、大人10名、スタッフ4名で行わ
れました。飾りの材料はスタッフ全員で作
り上げました。その材料をリースの周りに取
り付けます。飾りのバランスを考えたり針金
を巻き付けたり、ホットボンドで接着したりと
大変な作業でしたが、素敵なリースが出来上
りました。自分の部屋や玄関などに飾り、



今年クリスマス家族
全員で楽しんでもらえ
たと願っています。

今回も先着順となりま
したが、希望者全員が参
加できる日を願ってい
ます。

利用時間帯と料金

施設名	利用料金		
	午前 (9:00~13:00)	午後 (13:00~17:00)	夜間 (17:00~21:00)
会議室	500円	500円	500円
和室 1	700円	700円	700円
和室 2	700円	700円	700円

※ 飲酒を伴うご利用の場合、上記料金に別途1,000円が加算されます。

利用案内

- 施設を利用される方は、直接施設へお申し込みください。利用予定日の3ヶ月前から先着順で受け付けます。
- 休館日は、月曜日・祝日・12月29日から翌年1月3日までです。



新潟市西川地域コミュニティセンター



和室1・和室2



会議室

そんな時
あなたも使ってみませんか？
西川地域コミュニティセンター
会議室、和室があり、アットホームな雰囲気
が喜ばれています。
お気軽にお問い合わせください。
☎0256(88)5900
●開館時間 火曜日 9時~21時

サークル活動する場所がなくて
みんなで集まろうと思うんだけど
会議室はないかなあー
どっか、適当な場所がないかなあー

【橋のある風景】
弁天橋二題

編集委員 榎本 博



鑑潟弁財天と弁天橋

かつての鑑潟から蒲原平野の美田へと変貌を遂げた地域に二つの弁天橋がある。一つは、新川に架かる弁天橋。近くの鑑潟排水機場公園には、江戸初期の曾根周辺の用水確保に一命を賭した義人高橋源助ゆかりの弁財天（弁天様）が祀られていた。その後、排水機場の新規建設工事のため、平成28年8月に遠藤自治会により諏訪社に移設され現在に至っている。

が建つ。その昔、潟端の舟付場に住む矢鳥の住民が、弁天島の弁財天の御分身をお受けし漁の守り神として祀っていたという。「矢鳥の浮見堂」といわれ、樹齢200年もの松の原木が二本あった。



矢鳥弁財天と弁天橋

*参考文献「ふるさとにしかわ町」第二集

【健康】

冬のコロナ禍 健康管理について

医療法人美郷会 西蒲中央病院

理事長 江部 和人



新型コロナウイルス感染症を増やさない

皆さん一人一人が「新しい生活様式」、感染リスクが高まる「5つの場所」を再確認しましょう。感染対策としては、「こまめな手洗いやアルコール消毒」、「マスク着用を含む咳エチケット」、「三密の回避」を行います。

- ・外出先からの帰宅時や調理前後、食事前などに手を洗う、手洗いは30秒程度かけて、水と石けんで丁寧に洗う。または手指消毒用アルコールによる消毒を励行する
- ・正しくマスクを着用する、マスクがないときは、ティッシュやハンカチで口を覆う
- ・換気の悪い「密閉」空間、寒い時期でも、1時間に2回程度の換気をする

- ・多数が集まる「密集」場所を避ける
- ・間近で会話や発声をする「密接」場所を避ける

適度な運動や睡眠等で免疫力を高める

怖いのは感染だけではなくありません。新型コロナウイルスの影響で、外出を控えた結果、運動不足になったり、人との関わりが減っている人が増加して健康二次被害が懸念されています。免疫力の低下、肥満や生活習慣病の悪化、ストレスによるこころの病。また、高齢者の方は筋力低下による転倒・骨折、認知機能の低下が挙げられます。

運動している人は感染・重症化しづらい事がわかっていますので、免疫力をあげるために適度な運動や正しい食事、質の高い睡眠、人とのかわりが大切です。

また冬は季節性インフルエンザの流行期でもあり、新型コロナウイルス感染と症状だけでは区別が付きません。体がだるい、熱がある、のどの違和感など、いつもと体調が異なるときは、出勤や登校を控え、事前に連絡をし、早めに医療機関を受診してください。

免疫力を高めましょう！

・適度な運動

有酸素運動をしましょう。
1日平均歩数8,000歩以上
(高齢の方は7,000歩以上)
を目標に。



・筋トレ

太ももを鍛えるスクワットなどおすすめです。10回3セット、週3回を目安に。また骨の健康のためには、日光に当たることも大切です。

・正しい食事

1日3食バランス良い食事を心がけ、筋力を落とさないように「たんぱく質」もしっかりとりましょう。



・質の高い睡眠

睡眠不足だと免疫力が低下します。日中は運動し、夜はぐっすり眠りましょう。



・人とのかわり

人との関わりが減ると、ストレスや不安が大きくなり、免疫力が下がる。感染対策をとった上で、外に出たり、人と会ったりすることも大切です。



【暮らし】

新年に飾りたい花

佐藤農園 佐藤 和人（六分）

新潟の長く寒い冬には、ぜひとも花を飾り癒されたいものです。花の少ない季節ですが、スイセン、シクラメン、ポインセチア、ミニビジューム等があります。冬の花、種類は他の季節に比べ少ないものの、一つ一つの花のバリエーションが豊富です。工夫をすれば、冬でも自宅をカラフルな花で彩ることができます。

代表的な冬の鉢花と言えは「シクラメン」です。冬から晩春のころまで、およそ半年の間、次から次へと花を咲かせるシクラメンは、丈夫で育てやすく「鉢花の女王」にふさわしい植物です。

最近の人気品種の特徴は、香りがあるもの、八重咲き、バイカラー、ベル咲き、ホワイトリーフ等変わった花に人気があります。私の今年のオススメは「インディアアカ」と「フュアリーピコ」。

ぜひ、この冬はお気に入りの花を見つけ、家庭をカラフルに彩ってください。

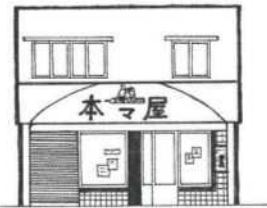


【高校生奮闘記】

古民家を地域の居間に(5)

新潟工業高校・建築部の挑戦

私たちは10月に行われた県外の大学のコンペに「だいろの町・再燃」という作品を出品しました。作品の内容は、私たちが「かのうはうす（旧前山洋服店）」で町おこしの活動の一環として行ってきた、「古民家改修工事」のほか地域の方の作品も寄せて頂いた「だいろアート」、まちあ



るきのための「越後曾根MAP」を柱にまとめました。この作品は、建築部だけでなく、地域の方々の協力があって完成できました。作品は学校での文化祭の後、「かのうハウス」で展示しています。

（小林 茉生）



越後曾根MAPでは、どのスポットを掲載するか部員で何度も相談して決めました。私たちが利用している商店、曾根のまちあるきの時に印象に残った所、町の外から来られる方に興味を持っていただけるような場所などをイラストで掲載し、お店からコメントを頂きました。今回は全てを入れることはできませんでしたが、曾根ではテレビや新聞、SNSなどで話題の場所も増えているので。これからも追加して行きたいと思っています。そして実際のまちあるきへも繋げて行きます。



また現在のかのうハウスは、畳の下から見つかった堀こたつを小さな囲炉裏に改修する工事が進んでいます。

（神田 大空）



〔歴史〕

町の歴史発見

代官所のシンボルだった代官松

曾根小後援会長 島山 卓也

先日、曾根小学校長から「代官松は何処にあったのか？」と尋ねられた。私は、曾根小卒、代官松なら知っているが初耳だった。

校長は、昭和17年（1942）の学校沿革史に「代官所遺跡ノ代官松、伐採ノ為祓イ行フ」との記載を見せてくれた。（12月16日付）

同時に複写の写真も出てきた。祓い当日のものらしい。力強い黒松の巨樹が写っている。



造園業者に樹齢を聞いたところ、伐採時で350年（伐採無しなら今430年）という。確かに嘉永3年（1850）に描かれた代官所の屋敷図にも、同じ位置に「堀越松」の大き木が載っている。

なお、写真中央の人物は、7番町在住だった渡辺門蔵氏、左側が笠原俊式校長とある。何故伐採したのか？同年の沿革史に北校舎増築の記事がある。おそらく戦局の厳しい時期この名木を売り建設資金にしたと推測される。

代官松は、今の1年生花壇の一部と思われる。江戸の初めから昭和17年まで、この松の巨樹は地域の歴史の証人だったのに残念に思う。

〔歴史〕

義人・高橋源助の話聞く会開催

見帯元宮シルバークラブ会長 本間不二夫



ら講演してもらいました。

地元の見帯公園に源助首塚が祀られてありますが、詳しい話はよく分からず、小林氏が付近に畑地を借りて耕作しており、新潟近辺から訪ねて来た人に説明をしているのを目にし、講師をお願いしたものです。

源助は村人悲願の水路工事を長岡藩に願い出て、村人総出の工事は完成しましたが、分水に反対する巻代官所管内の村々や役人の陰謀により、斬首となり、首は水路末尾の見帯の地に流れ着き、村人は首塚を建立して祀り、今日に至っています。

曾根代官所の歴史にも触れ、大変有意義な話でした。見帯婦人部「さつき会」が首塚に花を手向け、公園の草取りなどの管理をしています。わたし達も郷土恩人史跡を大切に守りしていきたいと思えます。



〔文化〕

花のある暮らし

升湯 本田 千春

型にとらわれず、自由にいける事ができるいけばなが、草月流の特徴です。

花・葉・枝・流木や野菜など何でも素材になります。同じ素材でも、長短の違いだけで全く別の作品に見えるところも魅力のひとつで、面白いと思えます。

西川地区では、文化協会による「芸術・芸能まつり」が秋に開催されます。展覧会では毎年、多種多様な素晴らしい作品に新しい発見があり、その才能には感心させられます。

展覧会に出品する作品作りも楽しく、創造力を刺激されますが、自宅の庭やプランターの花を一輪でも飾ることで、気分が変わり、生活に幸福感を得られます。花が持っている色や香りによっても癒し効果があり、元気になれます。



花は、幸せホルモンを増やし、ここを豊かにしてくれます。



〔国際通信〕

幸福の赤いパンツ

イタリヤ・フィレンツェ在住 稲川 祐子（鮎出身）



イタリヤにはちょっと変わった大晦日の習慣があります。それは、大晦日に赤い下着を贈り合い、その新しい下着を身につけて新しい年を迎えると、幸運がやって来ると言う風習です。11月末頃になると、下着屋さんや市場のあちこちで赤い下着が並び始めます。その起源はなんと、ローマ帝国の初代皇帝アウグストゥスまで遡ると言われています。当時、赤は力、精神、健康、豊かさの象徴、また、悪いエネルギーを取り去る悪魔祓いの色とされ、良運をもたらすと信じて来ました。権力者達のマントが赤色に染められていたのも、その為なんだそうです。そして一般の人々のあいだでも、一年の終わりに、衣服の下にこっそりと赤いものを身につける習慣が出来ていたとされています。2000年以上の歴史を継承してきた赤いパンツ、沢山の幸運が訪れますように、今年もまたこっそり身につけて新しい年を迎えましょう！



〔文化〕

お気に入りの作品シリーズ⑧ 書道と人のつながり

矢島 吉川 紅艸

書道をはじめたのは、自営業（酒店）で書く事が多くお客様にきれいな字で書いてあげたいと言う気持ちが強くなったからです。近くで書道教室で習いながら自宅でも時間を見つけて練習をする様になりました。

元々物事を習うと熱中する性格でしたので真面目に書道にむきあっていたら徐々に上達してきて、それから県展や芸展にも入選するようになりました。

賞を頂くようになると益々書の道の奥深さを感じる様になりこの道を究めていこうと精進していきました。

気が付けば四十年以上書と共に人生を歩んできた事になります。書道はいつの間にか私の一部となり切り離す事が出来ないほどの存在になっています。

でもこれは私一人の力ではなく影で支えてくれた夫や息子そして書道仲間存在があるからです。作品を通してその愛や感謝を感じて頂けたらと思います。



〔自治会・町内会〕

住環境、申し分なし

鮎第三町内会会長 斎藤 久夫

鮎第三町内会は、JR越後線沿いの、南は西川不動産公園近辺から、北はリオンドール西川北店までの、南北に細長い地域です。152世帯が暮らす比較的中規模程度の町内会です。

町内会の活動は基本的に、鮎第一町内会、第二町内会と私たち第三町内会が一体となって活動しているのです。

例年、住民総出での町内自主防災訓練、子供会も参加してお祭り灯笼作りと、完成した灯笼の町内引き回しなど、住民一体となって活動しています。ただ、昨年と今年はコロナ禍のため、残念ながら多くの活動ができませんでした。

また、私ども町内には、JR越後曾根駅、西川郵便局などがあり、また最近では住民待望のスーパーも開店したこともあり、住環境としては申し分ない地域です。最近では、住宅新築によって、新しい仲間も徐々に増えてきています。



〔文化〕

お気に入りの作品シリーズ⑨

飛ぶ宝石、カワセミを追う

見帯 加藤 正利

水面をかすめ、まっすぐに飛ぶ、翡翠（ひすい）の体色、その美しさに心をうばわれました。これを撮るには、如何したらいいんだらう。

とにかく、見つけなければ。最初は随分苦戦しました。エサになる魚がいる比較的の浅いところがポイントだ。狙いを付けて、とにかく待つ、警戒心の強い鳥です。ようやく見つけ、すぐにピンントを合わせようと動けば、「ピー」っと一声飛びたつてしまいます。慌てずに、目と目があって、にらめっこなんてこともありません。



が撮れたら、その日は上機嫌。

翌日には、もっと良いショットを。欲はつきません。さあ、今日も佐潟へ出掛けよう。

だから、良い一枚

〔幼児教育〕

地域内の幼稚園・保育園のシリーズ②⑤

ガンバって かいたよ!

升潟保育園



こんな宇宙だったらいいな

に色みたいな宇宙にかわいい宇宙人が住んでたら行ってみたいな!

小林菜々美 (きく組6歳)



しょうぼうじどうしゃ じぶた

大好きな絵本の中の消防車を描きました。いつかぼくも乗れるかな。

織田島壮央 (ばら組4歳)

〔スポーツ〕

さあ、あなたもご一緒に

西川グランドゴルフクラブ 吉岡 勝廣



西川クラブは、平成27年9月に発足して7年。現在は男性13名・女性8名あわせて21名となりました。

「いつまでも健康で、笑顔で楽しく」をモットーに会員相互の交流を図っています。春は桜を眺めながら。秋にはきれいな紅葉の間から決して高くはないが、形の美しい角田を視線の端にとらえながらボールを追いかけます。

最近、腕を上げ、練習日の都度何人かがホールインワンを出すほどに。各地区の大会にも参加し、親睦を深め楽しんでいきます。

西川ふれあい公園の芝生の所を練習場とし、午前中に約2時間、およそ四・五千歩歩き、健康増進にもなるようです。

毎週火曜・木曜の午前中には、ワイワイ楽しくラウンド練習しています。みなさんも、ご一緒に、いかがですか。



〔文化〕

「新聞記事感想文コンクール」
団体賞を受賞しました

西川中学校 国語部

「第二十八回新聞記事感想文コンクール」
(新潟県新聞活用教育(NIE)推進協議会
主催)において、西川中から七十七点を出品
し、このうち、一年佐藤美歩さんの作品が佳
作に入選、西川中学校は団体賞を受賞しまし
た。コンクールに出品
するまで、国語の授業
では次のような取組を
行いました。



まず、広く社会全体
への視点をもつことを
目標に、新聞記事から
様々な題材を取り上
げ、5W1Hを明確に
して内容を理解できる
ようにしました。また、
NIE出前授業で、新聞記者の仕事や新聞の
構造、見出しの作り方を学びました。さらに、
夏休み中に各自が様々な記事を読み、感想文
としてまとめました。

佐藤美歩さんの作品「考え直して」は、ベ
トナム人の若者が母国を思う気持ちを語る記
事から、それに比べて日本人の一部の若者は
「人任せ」で「自分たちが守り抜いていくと
い思いはなかなか現れない」「守りたいとい
うことだけでも頭に入れておきたい」と自分
の考えを述べています。

〔図書館〕

おうちで読書はいかがですか？

西川図書館 川崎 恵

西川図書館は、1月19日から26日まで蔵書
点検で休館いたします。蔵書点検は、正しい
場所に所蔵する資料がきちんとあるかどうか
を1冊ずつ確認いたします。このお休みをい
ただく期間にぜひ、おうちで読書はいかがで
しょうか。今回は、「モノのできかたずかん」
を紹介いたします。例えば、今ではあまり見かけ
なくなった「マッチ」。どのようにしてつく
られているのでしょうか。まず、丸太を薄い
ベニヤ板にし、そのベニヤ板を刻んで軸木を
作ります。軸木の上部にワックスをつけ、さ
らに火薬を付けます。箱に入れるとマッチの
完成です。

マッチの他に、吊り橋やロケット、チョコ
レートなど様々なモノので
きる工程が緻密な絵で描か
れています。一つ一つの工
程をじっくりと楽しみ、モ
ノづくりについてご家族で
学んでみませんか。



出品作品の中には、この他にも、自分の
考えをしっかりと表現できているものがたく
さんありました。これからも、文章を読み、
理解し、そこから自分なりの考えをもつこと
ができるよう、指導して参りたいと思います。

おめでとーございませう

第49回県芸術美術展(芸展) 入選者

- ◎ 日本画 安藤 正雄(川崎)
- ◎ 洋画 大橋 豊子(8番町)
- ◎ 写真 渡部 吉子(2番町)

第52回県ジュニア展 入賞者

◎ 奨励賞

幼稚園・保育園

- 岩堀 陽樹(和光幼稚園3歳児)
- 小林 翼(和光幼稚園3歳児)
- 竹平 琉人(和光幼稚園4歳児)

小学校

- 佐藤 昂明(鎧郷小1) さきがわいた(升湯小1)
- 五十嵐康凱(曾根小3) 山崎陽菜子(鎧郷小3)
- 高橋 コウ(曾根小4) 鈴木 美海(鎧郷小5)
- 石井 奨真(曾根小6) 小田嶋伽采(曾根小6)
- 中学校
- 高野 光奈(西川中3) 中川こすも(西川中3)

令和3年度河川美化啓発ポスターコンクール入賞者

- ◎ 西蒲区長賞 笠原 舞(鎧郷小3)
- ◎ 優秀賞 齋藤 凜利(鎧郷小1)

編集後記

今年コロナの収束を迎えられると期待し
ていたが、南アフリカ共和国から新型が発生
して大騒ぎになっている。来年こそは静かな
年になってもらいたいと願うこの頃です。

【編集委員】◎江端 繁◎灰野直義

近藤敏道 榎本 博 土田正博